○議長（茅沼隆文）

それでは、日程第7 認定第7号 決算認定について（水道事業会計）及び日程第8 議案第29号 平成28年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、あわせて細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

日程第7 決算認定について。

地方自治法第233条第3項の規定により、平成28年度開成町水道事業会計歳入歳出決算は別冊のとおりにつき、監査員の意見をつけて認定を求めます。

平成29年9月5日提出、開成町長、府川裕一。

1枚おめくりください。

議案第29号 平成28年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、平成28年度、開成町水道事業会計未処分利益剰余金を別冊のとおり処分する。よって、地方公営企業法第32条第2項の規定により、議会の議決を求める。

平成29年9月5日提出、開成町長、府川裕一。

こちらの議案は別冊の開成町歳入歳出決算書の286ページになります。

平成28年度開成町水道事業剰余金処分計算書（案）になります。内容の説明は後程決算認定の説明内で説明いたします。恐れ入りますが、決算書の291ページをお開きください。

平成28年度開成町水道事業報告書の概況を朗読いたします。

1、概況。

（1）総括事項。

平成29年3月31日現在の給水装置使用数は前年度比2.78%増で200個増の7,389個、給水人口は前年度比0.81%増で140人増の1万7,344人となりました。

年間有収水量は、事業所の使用水量が増加したため、前年度より5万2,440立法メートル増の199万1,542立法メートル、一日平均給水量は、前年度より158立方メートル増の5,456立法メートルで前年度比2.98%の増でした。

建設改良事業は、町道119号線他配水管布設工事を行いました。

増設改良事業は、高台第一浄水場ポンプ井更新工事（第2期）、高台第二浄水場塩素注入ポンプ及び制御盤更新工事、下水道工事に伴う町道230-2号線支障配水管布設替工事等を行いました。

営業収支では、事業収益全体としては、2億3,970万5,611円（前年度比9.1%の増）となりました。事業支出全体は1億8,995万418円（前年度比0.69%の増）となりました。結果として事業収益が事業支出を上回ったことにより、総体としては4,975万5,193円の純利益となりました。

決算書の278ページにお戻りください。

平成28年度開成町水道事業決算報告書です。(1)収益的収入及び支出の収入です。第1款水道事業収益です。予算額2億4,884万4,000円に対し、決算額は2億5,647万1,182円で、予算額に比べ、762万7,182円の増収です。

第1項営業収益、補正予算額、950万円は、事業所の使用水量増加に伴う給水収益の増加と、敷設建設に伴う給水工事加入金の増額です。予算額2億2,867万4,000円に対し、決算額は2億3,435万8,150円で、568万4,150円の増収です。

第2項営業外収益、予算額2,017万円に対し、決算額は、2,211万3,032円で194万3,032円の増収です。

次に、支出です。第11款水道事業費用、予算額、2億4,884万4,000円に対し、決算額は、2億79万1,963円で、執行率は80.6%です。不用額は、4,805万2,037円です。

第1項営業費用補正予算額3万1,000円の減額は、職員の給与費等で、予備費支出額、181万308円は、主に有形固定資産償却費等の不足です。

予算額1億7,717万8,308円に対し、決算額は、1億6,924万619円で、不用額は、793万7,689円です。

第2項、営業外費用、予備費支出額、141万2,700円は、消費税の不足分です。

予算額3,195万5,700円に対し、決算額は、3,152万6,363円で、不用額は、42万9,337円です。第3項予備費、補正予算額953万1,000円は、主に営業収益の補正に伴う増額です。

予備費支出額は、324万7,989円となり、予算額は3,968万5,011円となりました。決算額は0円です。

第8項、特別損失は、2件の還付による過年度損益修正損、2万4,981円を予備費から支出いたしました。

続きまして、280ページをお開きください。資本的収入及び支出の収入です。

第2款資本的収入です。予算額5,304万5,000円に対し、決算額は、5,299万9,560円で、予算額に比べ、4万5,440円の減収です。

第1項分担金、予算額666万円に対し、決算額は、661万3,920円で、4万6,080円の減額が、下水道工事に伴う水道管布設替え工事の分担金の減収です。

第2項負担金、補正予算額、52万1,000円は、消火栓設置費負担金の増額です。予算額138万5,000円に対し、決算額は、138万5,640円で、640円の増収です。

第5項企業債、補正予算額、1,400万円の減額は、企業債残高の圧縮を図るための減額です。予算額4,500万円に対し、決算額も同額の4,500万円。

次に、支出です。第12款資本的支出、予算額、1億7,219万4,000円

に対し、決算額が1億6,447万6,864円で、執行率は95.5%、不用額は771万7,136円です。

第1項建設改良費、補正予算額70万円の減額は、工事請負費の減額です。予算額550万円に対し、決算額は、483万3,000円で、不用額は66万7,000円です。

第2項増設改良費、補正予算額、327万3,000円の減額は、主に配水施設整備工事費の減額です。予算額、9,964万8,000円に対し、決算額は9,559万8,464円で、不用額は404万9,536円です。不用額の主な要因は、入札の執行残です。

第3項企業債償還金、予算額6,404万6,000円に対し、決算額は、6,404万5,400円で、不用額は600円です。

第4項予備費、予算額は300万円で、決算額は0円です。

なお、欄外に記載してあります金額は、資本的収入額が資本的支出額に対し不足が生じたので、公営企業会計の会計処理方法により補てんをいたしましたものです。

それでは、別冊の開成町歳入歳出決算書、説明資料の100ページ、101ページをお開きください。決算書は297ページになります。

歳入です。収益的収入の水道事業収益、給水収益の水道使用料は、平成28年度に調停した件数は、4万3,599件で、前年度より419万1,000円の増収となりました。受託工事収益の給水工事加入金は、240件の新規加入者の水道加入金です。新設保育園等の大口径のメーターの設置に伴います、給水工事加入金等が前年度より、1,505万円の増収です。

その他営業収益の手数料は、給水工事設計審査や下水道料金徴収等の手数料です。前年度より137万8,000円の減収です。

雑収入は仮設メーター賃借料、仮設メーター水道使用料、検満メーターの売却費及び水道水の放射能検査費等の東京電力からの損害賠償費です。

他会計負担金は、378基分の消火栓の維持管理費です。

営業外利益、受取利息及び配当金は、定期預金、国債、県民債に係る預金利息です。

長期前受金戻入益は、減価償却費のうち補助金等で取得しました部分の戻入益で、会計上の歳入になります。

雑収益は、東京ガスからの小田急線軌道敷地下埋設用地使用料になります。

資本的収入になります。決算書では、300ページになります。資本的収入、分担金、配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替え工事に係る分担金です。前年度より329万1,000円の増収です。負担金、他会計負担金、消火栓設置費負担金は、消火栓更新1基、消火栓補修2基、消火栓ボックス交換1基に係る負担金で、前年度より14万2,000円の減収。

企業債、企業債は、配水管布設工事3件に係る起債で、地方公共団体金融機構資

金で2件です。

次の102ページ、103ページをお開きください。歳出になります。決算書は、298ページになります。

収益的支出から御説明いたします。水道事業費用、営業費用、1目原水浄水配水及び給水費は、水質検査、滅菌装置保守点検及び電気設備保安等の委託です。漏水当番経費や給排水管の維持、維持管理等の工事を実施いたしました。

2目受託工事費は、町道720号線制水弁高さ調整工事や給水管の補修工事を行いました。前年度比より23万円の増です。

3目総係費は、水道事務運営上に要する費用では、テレメータの回線利用による浄水場施設の監視等により効率的な水道事務事業を行いました。また、人口増に伴い、許可を受けた給水人口を超えることが予測されるため、水道事業計画の見直し業務を委託いたしました。

4目、有形固定資産償却費は、建物、構築物機械及び装置等の有形固定資産の減価償却費でございます。

5目、資産減耗費は、棚卸資産、下水道工事に伴います配水管の撤去、ポンプ井更新工事や塩素注入ポンプ及び制御盤更新工事等に伴う、建築物機械及び装置の除却経費です。

営業外費用、1目支配利息は、平成28年度当初企業債残高11億944万8,000円に対する利子返済分です。前年度より200万2,000円の減です。

3目雑支出は支出がありませんでした。

特別損失、1目過年度損益修正損は、水道使用料の還付2件でございます。

続きまして、資本的支出です。決算書は301ページになります。資本的支出、建設改良費、1目拡張事業費は、町道119号線配水管布設工事を行いました。前年度より171万5,000円減。

増設改良費、1目配水施設整備工事費は、高台第一浄水場ポンプ井更新工事、高台第二浄水場塩素注入ポンプ及び制御盤更新工事外3件の浄水場設備の更新工事、下水道工事に伴う町道230-2号線配水管布設替え工事他1件を行いました。また、消火栓更新工事1カ所、消火栓補修2カ所、消火栓ボックスの交換1カ所行いました。前年度より1,229万3,000円の増。です。

2目メーター費は、計量法に基づく、707件の検満メーターの取り換え工事と857個のメーターを購入いたしました。

企業債償還金、1目企業債償還金は、平成28年度当初企業債残高11億944万8,000円に対する元金返済です。前年度比243万1,000円の減となっております。

説明書の最後に、資料4で、平成28年度の工事箇所を添付しております。後程ご覧いただきたいと思っております。

恐れ入りますが、決算書の282ページをお願いいたします。

平成28年度開成町水道事業損益計算書です。なお、全ての収益と費用は税抜き

で記載しております。

1の営業収益は、水道料金、給水工事加入金が主なものであり、営業収益合計は、2億1,757万2,592円です。

2の営業費用は、水道事業を運営する上で、施設管理費や事務的経費、有形固定資産の減価償却、資産減耗費であり、営業費用の合計は1億6,681万1,774円です。

営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は5,076万818円です。

3の営業外収益は、受取利息、長期前受金戻入と、雑収入が主なもので、収益合計は、2,213万3,019円です。

4の営業外費用は、企業債の支払利息が主なもので、その合計は2,311万3,663円です。

経常利益は、4,978万174円となります。

5の特別損失は、(1)の過年度損益修正損の2万4,981円です。

当年度の純利益は、経常利益から特別損失を差し引いた4,975万5,193円となります。この純益に前年度繰越利益剰余金3,145万7,680円を加えた8,121万2,873円が、当年度未処分利益剰余金となります。

284ページをお願いいたします。平成28年度開成町水道事業剰余金計算書です。表上段の前年度末残高は、資本金の自己資本金が14億2,896万3,074円です。借入資本と資本剰余金は計上はありません。

利益剰余金の減債積立金は3,811万円、建設改良積立金は5,500万円です。

繰越利益剰余金6,145万7,680円を加えた、利益剰余金合計は1億5,456万7,680円となり、前年度末の資本合計は15億8,353万754円です。

前年度処分額の利益剰余金は平成27年度に議決により、減債積立金に1,000万円、建設改良積立金に2,000万円、積み立てをいたしました。処分後残高は、減債積立金が4,811万円、建設改良積立金が7,500万円、未処分利益剰余金合計が3,145万7,680円です。当年度変動額は、当年度純利益、4,975万5,193円が未処分利益剰余金として計上され、資本合計は、前年度期末残高、15億8,353万754円に、当年度変動額の利益剰余金合計4,975万5,193円を加えました、16億3,328万5,947円です。

次の286ページをお願いいたします。平成28年度開成町水道事業剰余金処分計算書(案)です。

議案のこちらが第29号になります。当年度未処分利益剰余金、8,121万2,873円から企業債償還に充てる減債積立金を4,000万円、建設事業に充てる建設改良積立金を1,000万円とし、残りの3,121万2,873円を翌年度繰越利益剰余金とする案とさせていただきます。

次の288ページをお開きください。平成28年度開成町水道事業予定貸借対照

表について説明をいたします。

資産の部です。1、固定資産は、(1)有形固定資産のイの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計、26億7,248万6,351円と、(2)無形固定資産のイ、電話加入権、21万3,040円と、(3)投資その他の資産。イ、リサイクル預託金9,130円を加え、固定資産合計は、26億7,270万8,521円です。

2、流動資産は、(1)現金預金から(3)貯蔵品の流動資産合計が5億9,766万4,377円です。

資産合計は、固定資産合計と流動資産合計を加えました、32億7,037万2,898円です。

289ページをお願いします。次に負債の部です。3、固定負債は、(1)企業債と(2)引当金、イの修繕引当金の合計、10億3,298万5,311円です。

4、流動負債は、(1)一時借入金から(4)引当金の合計6,886万1,406円です。

5、繰延収益は、(1)長期前受金のイからホの合計、5億3,524万234円となります。

負債合計、流動負債合計と繰延収益合計を加えた、16億3,708万6,951円です。

290ページをお願いします。資本の部です。

6、資本金は、(1)の自己資本金、イの固有資本金からハの出資金の合計14億2,896万3,074円です。

7、剰余金は、平成28年度の決算から、会計制度の変更により負債の部の繰延収益に移設をいたしました。計上額はありません。

(2)利益剰余金は、イの建設改良積立金からハの未処分利益剰余金を加えた、2億432万2,873円です。

資本合計は、資本金合計と利益剰余金を合わせた16億3,328万5,947円となり、負債と資本を合わせました、負債資本合計は、32億7,037万2,898円です。

最後に、295ページをお願いいたします。

平成28年度開成町水道事業キャッシュ・フロー計算書です。

1、営業活動によるキャッシュ・フロー。(1)当年度純利益の4,975万5,193円と(2)の営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整のイの有形固定資産減価償却費から、ホの営業活動以外による資産及び負債の増減額までの小計、1億3,414万4,390円、受取利息及び配当金受入額、支払利息及び企業債取扱諸費の支払額を加えた金額が、営業活動から得た現金預金(純額)1億1,128万1,900円となります。

次に、2の投資活動によるキャッシュ・フローです。(1)固定資産の取得による支出(建設改良費)と(2)上記(1)実施に係る負担金等収入の合計が、投資

活動から得た現金預金（純額）となり、8,651万578円のマイナスとなります。

次に、3の財務活動によるキャッシュ・フローです。（1）企業債の発行と（2）企業債の償還の合計が、財務活動から得た現金預金（純額）となり、1,904万5,400円のマイナスとなります。

4の現金預金及び現金等価物増加額・減少額は、1の営業活動から得た現金預金（純額）2の投資活動から得た現金預金（純額）と、3の投資活動から得た現金預金（純額）合計、572万5,922円の増額となります。

5の金預金及び現金等価物期首残高、5億6,616万4,164円を加えた、6の現金預金及び現金等価物期末残高は、5億7,189万86円となります。

303ページにあります、預金現金金融機関別明細書の預金現在高の合計と同額となります。

説明は以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

認定第7号 決算認定について（水道事業会計）及び議案第29号 平成28年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての細部説明を終了いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

なお、11日の月曜日は休会となりますので、12日の火曜日に一般会計決算の質疑を行います。

本日はこれにて散会いたします。

午後 3時33分 散会